

# 大 藏 委 員 会 議 錄 第 九 号

(五九)

平成十年二月十日(火曜日)

午前九時四十分開議

出席委員

委員長 村上誠一郎君

理事

井奥貞雄君

理事

坂井隆憲君

理事

池田元久君

理事

石井啓一君

理事

岩永峯一君

理事

桜田義孝君

理事

杉浦正志君

理事

中野桧田仁君

理事

村井仁君

理事

渡辺具能君

理事

喜美君

理事

北脇保之君

理事

中川正春君

理事

藤田幸久君

理事

河合正智君

理事

小池百合子君

理事

西田猛君

理事

佐々木陸海君

出席國務大臣

大藏大臣 松永光君

出席政府委員

大藏政務次官 大藏省主税局長

委員外の出席者

大蔵委員会専門員

委員の異動

大蔵大臣 松永光君

二月十日

辞任

今村 雅弘君  
菅 義偉君  
補欠選任

第一類第五号

大蔵委員会議録第九号

平成十年二月十日

河井 克行君  
濱田 健一君今村 雅弘君  
島山健治郎君同日 辞任 菅 義偉君  
補欠選任 濱田 健一君入中止等に関する陳情書(東京都港区南青山三  
の一の二八秋元ゆきひさ)(第五八号)  
は本委員会に参考送付された。

本日の会議に付した案件

平成九年度の新生産調整推進助成補助金等につ  
いての所得税及び法人税の臨時特例に関する法  
律案起草の件平成九年度の新生産調整推進助成補助金等につ  
いての所得税及び法人税の臨時特例に関する法  
律案

〔本号末尾に掲載〕

○村上委員長 この際、衆議院規則第四十八条の  
規定により、内閣において御意見があればお  
述べ願いたいと存じます。大蔵大臣松永光君。○松永國務大臣 この法律案につきましては、稻  
作転換の必要性に顧み、あえて反対いたしませ  
ん。

○村上委員長 お諮りいたします。

〔賛成者起立〕

〔賛成者起立〕

○村上委員長 起立総員。よって、本案は委員会  
提出の法律案とするに決しました。○村上委員長 なほ、本法律案の提出手続等につきましては、  
委員長に御一任願いたいと存じますが、御異議あ  
りませんか。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり

○村上委員長 御異議なしと認めます。よって、  
そのように決しました。○村上委員長 次回は、公報をもってお知らせすることとし、  
次回は、これにて散会いたします。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり

○村上委員長 平成九年度の新生産調整推進助成補助金等に  
ついての所得税及び法人税の臨時特例に関する法  
律案○村上委員長 平成九年度の新生産調整推進助成補助金等に  
ついての所得税及び法人税の臨時特例に関する法  
律案

一

所得税の特例

**第一条** 個人が、政府又は全国の区域を地区とす

る農業協同組合連合会から平成九年度の新生産調整推進助成補助金の交付を受けた場合及び農業協同組合又は主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律(平成六年法律第二百十二号)第三条第九項に規定する第一種登録出荷取扱業者(以下「農業協同組合等」という。)から平成九年度の新主催調整推進対策地域周辺推進事業(新主催

る金額の合計額(次項において「補助金等の金額」という)をもって固定資産の取得又は改良をした場合において、その固定資産につき、その取得又は改良に充てた金額の範囲内でその帳簿価額を損金経理により減額し、又は当該金額以下の金額を政令で定める方法により経理したときにおける法人税法(昭和四十年法律第三十四号)の規定の適用については、政令で定めるところにより、その減額又は経理した金額に相当する金額は、当該事業年度の所得の金額の計算上、員金の項に算入する。

づく補償金の交付を受けた場合には、当該個人の平成九年分の所得税については、その交付を受けた新生産調整推進助成補助金の金額及びその交付を受けた補償金の金額のうち当該個人に係る新生産調整推進対策地域調整推進事業費補助金の金額に相当する金額として大蔵省令で定める金額の合計額(以下この条において「補助金等の金額」という。)は、所得税法(昭和四十年法律第三十三号)第二十四条第一項に規定する一

時所得に係る収入金額とみなし、かつ、その交付の基団となつた農地に係る損失又は費用とし

て大蔵省令で定めるものの額は、その交付を受けた補助金等の金額を超える部分の金額を除き、当該一時所得に係る同条第一項の支出した金額とみなす。

法人税の特例

## 第二条 農地法(昭和一十七年法律第二百一十九

号)第二条第七項に規定する農業生産法人で、  
政府又は全国の区域を地区とする農業協同組合  
連合会から平成九年度の新生産調整推進助成補  
助金の交付を受けたもの及び農業協同組合等が  
平成九年度の新生産調整推進対策地域調整推  
進事業に基づく補償金の交付を受けたものが、  
その交付を受けた日の属する事業年度において  
その受けた新生産調整推進助成補助金の金額及  
びその受けた補償金の金額のうち当該法人に係  
る新生産調整推進対策地域調整推進事業費補助  
金の金額に相当する金額として大蔵省令で定め

前項の規定は、同項の農業生産法人が、同項の新生産調整推進助成補助金及び新生産調整推進対策地域調整推進事業に基づく補償金の交付を受けた日の属する事業年度の翌事業年度開始の日から、その交付を受けた日以後二年を経過する日までの期間内に、その受けた補助金等の金額をもって固定資産の取得又は改良をした場合について準用する。この場合において必要な事項は、政令で定める。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

理由

この法律は、公布の日から施行する。

平成九年度に政府等から交付される新生産調整推進助成補助金等について、個人についてはこれを一時所得に係る収入金額とし、法人については圧縮記帳の特例を設けることにより、それぞれその負担を軽減する必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。

本案施行による減収見込額は、約五億円であ  
る。

平成十年一月二十日発行